

総務省：第4回 ICTサイバーセキュリティ政策分科会

「地域におけるサイバーセキュリティ対策の取組について」

資料 4 - 4

※一部非公開※

日本シーサート協議会の活動

— ご説明資料 —

一般社団法人 日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会

2024年 3月27日

日本シーサート協議会 (NCA) とは

- 設立 : 2007年3月 (任意団体として活動していたが、2020年4月より一般社団法人として活動開始)
- 名称 : 一般社団法人 日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会
(通称 : 日本シーサート協議会、英略称 : **NCA**)
- 会員 : **524** 組織、約**5,250**名 ※ 2024年 3月1日 現在
- 連絡先 : 日本シーサート協議会事務局

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-2 東山ビルディング 8階
一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター内

E-mail : nca-sec@nca.gr.jp オフィシャルサイト : <https://www.nca.gr.jp/>

vision

理想

ひとつとして同じものはない様々なシーサートが互いに信頼し、
緊密につながり、共にセキュリティインシデントに立ち向かう

mission

使命

シーサート同士の積極的なコミュニケーションを図り、
よりよいセキュリティ協働を実現し、情報化社会の発展に寄与する

社会の歩みと加盟チーム数の推移

2013年3月1日 FISC
『金融機関等コンピュータ・システムの安全対策基準・解説書(第8版追補)』

◎ 設立発起人 6者 (アルファベット順)

HIRT、IIJ-SECT、JPCERT/CC、
JSOC、NTT-CERT、SBCSIRT

2012年1月19日 情報セキュリティ対策推進会議
『情報セキュリティ対策に関する官民連携の在り方について』
「官民を含む各組織内CSIRT等の中で、
専門的、実務的な連携を図ることが必要」

2013年4月5日 総務省 情報セキュリティアドバイザーボード
『総務省における情報セキュリティ政策の推進に関する提言』
「リスク認識に基づく対応の強化(事故前提社会)」

2014年5月19日 情報セキュリティ政策会議
『政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準群』改訂

2015年2月17日 一般社団法人日本経済団体連合会
サイバーセキュリティ対策の強化に向けた提言

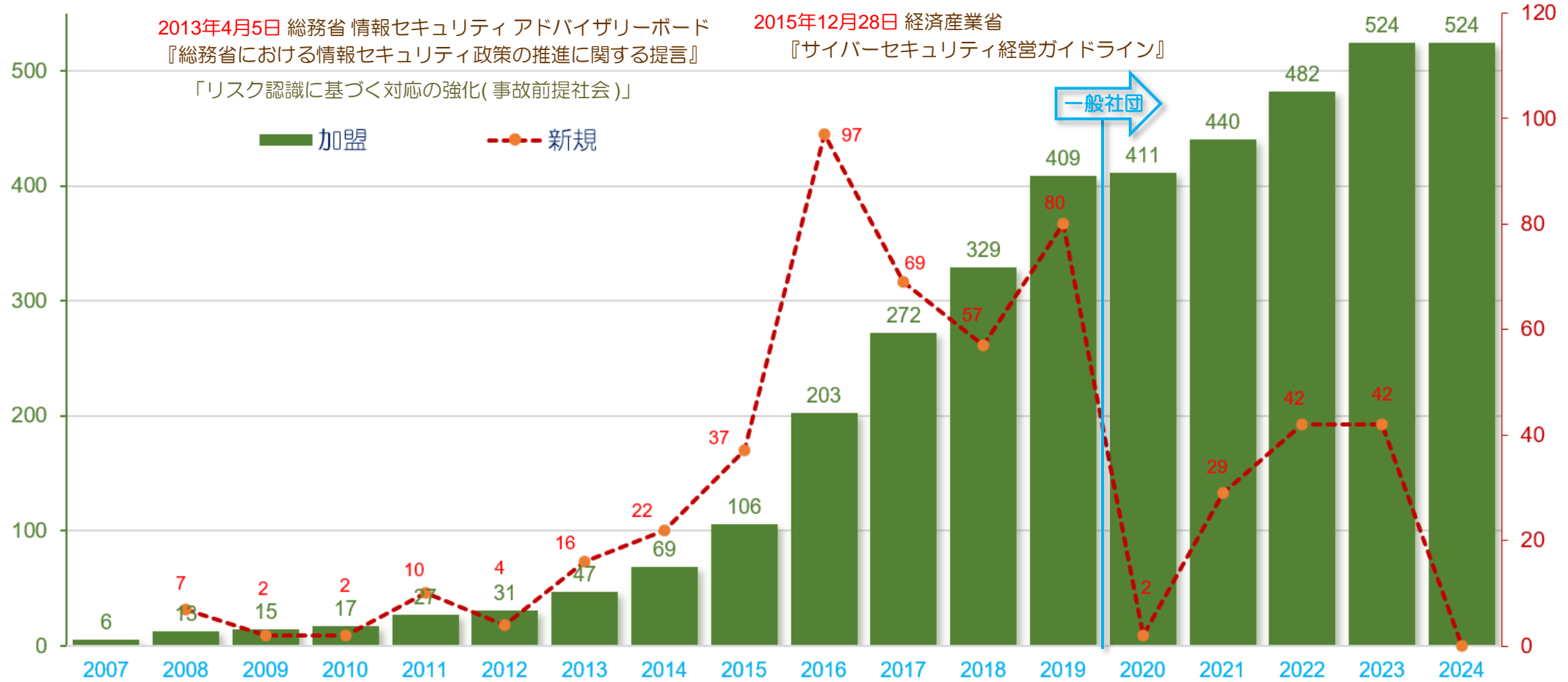
2015年4月22日 金融庁
「主要行等向けの総合的な監督指針」「金融検査マニュアル」

2015年12月28日 経済産業省
『サイバーセキュリティ経営ガイドライン』

2021年6月18日
「経済財政運営と改革の基本方針2021」

2022年5月11日
「経済安全保障推進法」

年	加盟	新規
2007	6	
2008	13	7
2009	15	2
2010	17	2
2011	27	10
2012	31	4
2013	47	16
2014	69	22
2015	106	37
2016	203	97
2017	272	69
2018	329	57
2019	409	80
2020	411	2
2021	440	29
2022	482	42
2023	524	42
2024	524	0



我が国のサイバーセキュリティの現状と課題

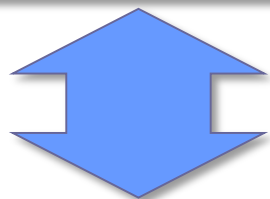
現状

- サイバーセキュリティの状況
 - ✓ サイバーリスクの高止まり、デジタル格差の拡大、サイバー被害の拡大
- 対策の状況
 - ✓ 我が国の「サイバーセキュリティ」は啓発段階
 - ✓ サイバーセキュリティ人材の不足、サイバーセキュリティ予算の不足

課題

- 攻撃の標的となるサプライチェーン(中堅以下の企業)に対する防御策強化
- 我が国の「サイバーセキュリティ」レベルの底上げ、基礎能力の向上

発展途上の“公助”
“自助”も困難



重要インフラ事業者(CEPTOAR)や業界ごとの
連携(ISAC)に加わっていない組織が取り残される

“共助”の受け皿としてのNCA

mission

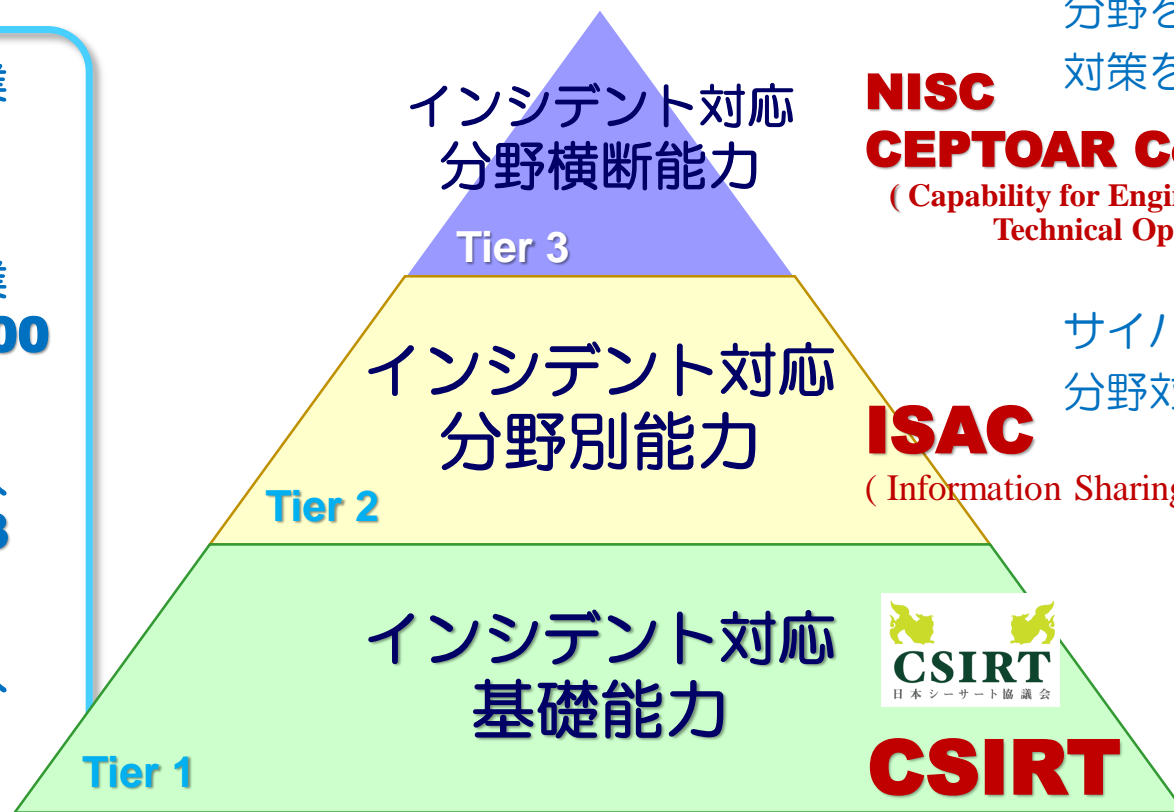
使命

シーサート同士の積極的なコミュニケーションを図り、
よりよいセキュリティ協働を実現し、情報化社会の発展に寄与する

我が国の大半の企業や組織にとっての“共助” = NCA

各チームが「正義の味方」として”共助”を実現できるように、地区活動、チームトレーニング活動等を通じてサイバーセキュリティ基礎能力を自主的に向上する「場」を提供し、さらに実践的な演習による連携強化を図る

【主な組織の現状】



分野を横断してサイバーセキュリティ対策を推進するための能力向上を図る

NISC
CEPTOAR Council
(Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response)

サイバーセキュリティ基礎能力に基づき、分野対策を推進するための能力向上を図る

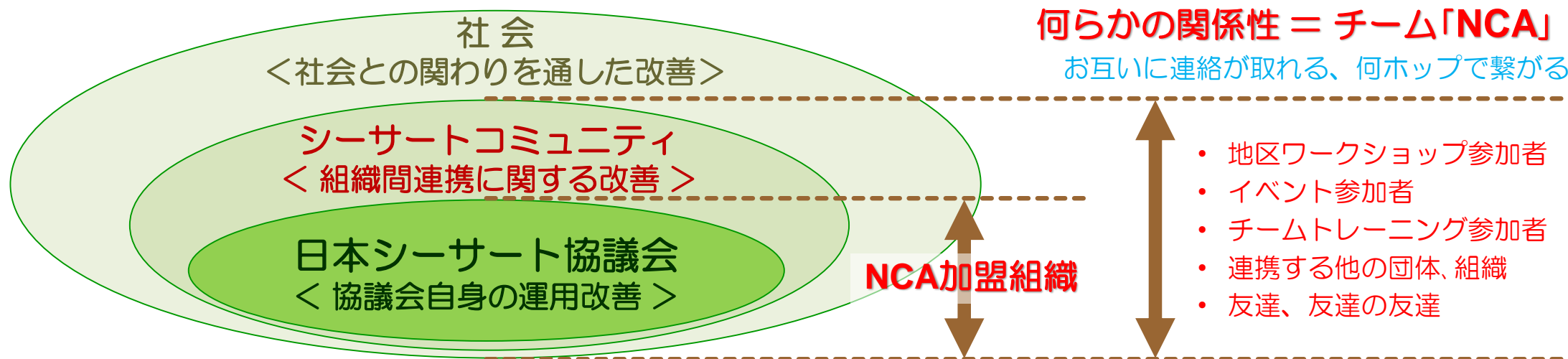
ISAC
(Information Sharing and Analysis Center)

組織自身が自主的にサイバーセキュリティ基礎能力の向上を図る


CSIRT
(Computer Security Incident Response Team)

● 協議会、コミュニティ、社会の3つ視点からNCAの活動に取り組む

- | | |
|-----------------|--|
| 社会 | セキュリティ関連団体やコミュニティ活動への協力や支援を通して、社会全体のセキュリティ向上に必要な仕組み作りへの寄与を目指す |
| シーサート
コミュニティ | 地区毎で顔の見える場の整備と提供を通して、サイバーセキュリティと地震や天候的な災害などのフィジカルセキュリティの両側面から組織間で連携できる体制を目指す |
| 協議会 | 行動指針に沿って、加盟チームメンバーの相互信頼関係の醸成、インシデントに対して加盟チームが連携して対応できる体制を目指す |



NCA活動の存在意義

mission

シーサート同士の積極的なコミュニケーションを図り、
よりよいセキュリティ協働を実現し、情報化社会の発展に寄与する。

使命

strategy

全国の **3,000** チームが、チーム「**NCA**」として機能していくための **運営基盤**

戦略

- 加盟組織が「サイバーセキュリティ基礎能力」を自主的に向上することができる「**場**」を提供し、一体感を醸成する
- 加盟組織が、広く社会に情報発信する「**場**」を提供する

tactic

〇〇〇 による、**NCA**活動の活性化と普及、社会貢献

戦術

- 委員会活動
- ワーキンググループ活動
- 全体会合、シーサート**WG**、**NCA Annual Conference**

さまざまな「場」の提供による活動の活性化と社会貢献

「場」の提供

委員会活動

- 運営委員会
- 地区活動委員会
 - ✓ 北海道地区
 - ✓ 関東地区
 - ✓ 中部地区
 - ✓ 関西地区
 - ✓ 九州地区
- チームトレーニング委員会

事務局

全体会合・シーサートWG
Annual Conference

チームトレーニング

教育

演習

情報共有

地区活動

日本シーサート協議会

シーサートコミュニティ

社会

ワーキング活動

- CSIRT課題検討WG
- 脅威情報共有 WG
- インシデント情報活用フレームワーク検討 WG
- シーサート WG
- Honeynet Project Japan Chapter WG
- インシデント事例分析 WG
- インシデント対応検討 WG
- SSH サーバセキュリティ設定検討 WG
- CSIRT 人材 WG
- インシデント対応訓練 WG
 - ✓ 机上演習手法検討サブ WG
 - ✓ メール訓練手法検討サブ WG
- セキュリティレポーティング WG
- ログ分析 WG
- CSIRT 評価モデル検討 WG
- 法制度研究 WG
- ツール共有 WG
- 工場セキュリティ WG
- システム連携推進 SWG
- 脆弱性管理 WG
- セキュリティ教育検討WG
- PSIRT WG

チャタムハウスルール（ Chatham House Rule ）

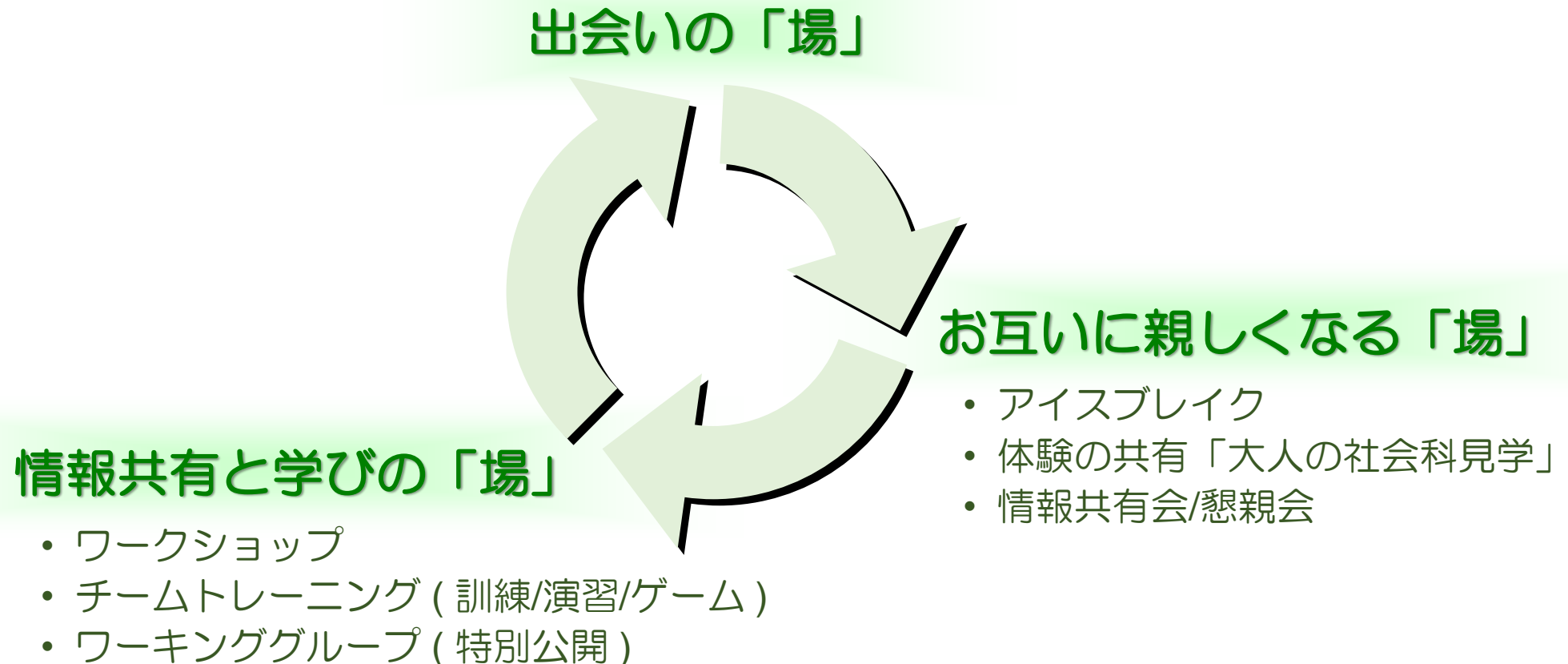
チャタムハウスルールを適用する旨の宣言の下に運営される会議においては、当該会議で得られた情報を利用できるが、その情報の発言者やその他の参加者の身元および所属に関して秘匿する（明示的にも黙示的にも明らかにしない）義務を負うというルール。

Wikipedia : 王立国際問題研究所

<http://www.chathamhouse.org/about/chatham-house-rule>

活動概要のご紹介：さまざまな「場」の提供

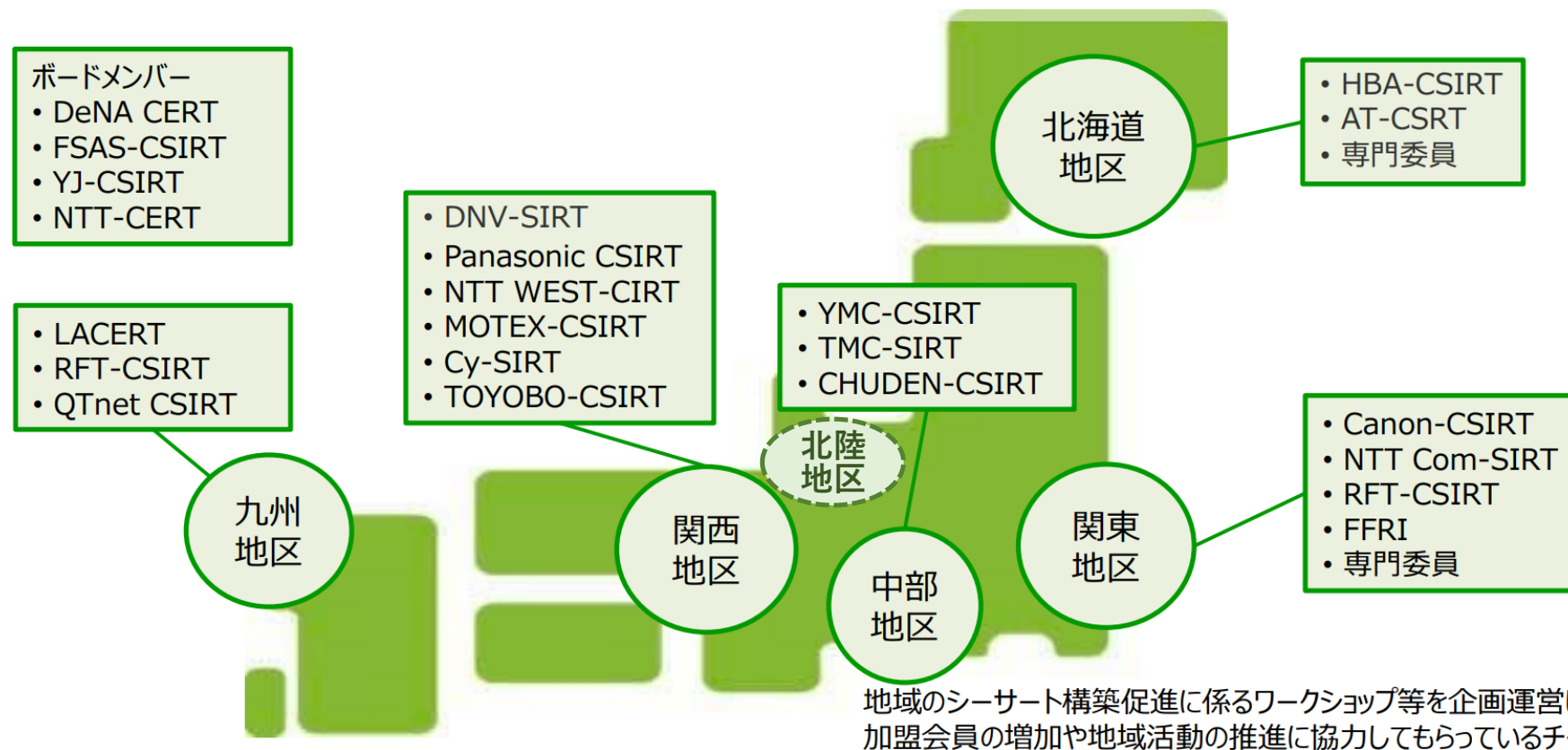
- 地区活動委員会
- **NCA Annual Conference**



地区活動委員会 ～地区毎での顔の見える活動の場の整備～

地域のシーサート活動促進に係るワークショップ等を企画運営

- 地域のセキュリティ関連コミュニティ、非加盟組織との交流の場
- 地域の自治体、警察、学術関連組織との交流の場



地区活動：ワークショップ開催実績

【2022～2024年】

※ 詳細はオフィシャルサイト参照
<https://www.nca.gr.jp/activity/event.html>

2024年

3月15日	関東	「めぐりあい青空（そら）」	
1月31日	中部	「サプライのチェーンは続くよどこまでも　－ものづくりの街からこんにちは－」	

2023年

11月24日	北信越	「ベンダーはうちがいいよと言うけれど」	17名	
10月13日	北海道	「CSIRT人材とサプライチェーンに関連するあれこれ」	49名	
9月14日	関東	「事業継続とCSIRT」	60名	
7月26日	関西	「お悩みちゃんへの答え合わせ！NCA最新活用法大公開やで！」	47名	
6月2日	九州	「もっと仲良くなろう九州」	38名	
4月17日	関東	「振り返って味わうここだけの話」	40名	
3月10日	関東	「めぐりあい宇宙（そら）」	67名	
1月23日	中部	「サイバー情勢とCSIRTの見える化・魅せる化」	115名	(ハイブリッド)

2022年

11月25日	北陸	「サプライチェーンセキュリティ苦労話」	71名	(ハイブリッド)
10月25日	北海道	「クラウドリスク評価をするうえで幸せな方法」	88名	(ハイブリッド)
9月9日	関東	「可愛い子には旅をさせよ--海外カンファレンス現地参加と人材育成」	81名	(オンライン)
8月31日	CSIRT	課題検討WG -- HERE	113名	(ハイブリッド)
7月29日	関西	「3年分の思いを込めてここだけの話」	53名	
6月2日	九州	「CSIRTが担うセキュリティガバナンス」	68名	(ハイブリッド)
4月22日	関東	「どうしてまか？巣ごもり期間」	19名	
1月26日	中部	「隣の芝生は何色だ！？もっと知ろう地域連携！」	88名	(オンライン)

コロナに負けるな！ カツドウを止めるな！

あなたのやっときゃよかった〇〇は？

Go to www.menti.com and use the code 49744b39

オンライン会議に関する不安は何？

不安の種類	割合
（Blue）	35%
（Yellow）	40%
（Green）	13%
（Red）	27%

日本シーサート協議会 地区活動委員の概要

- 各地区でのシーサートワークショップの企画・運営（4月は北陸でも実施）
- シーサート関係者同士の親睦の見える活動の場を設けることを目指す
- 北海道、関東、中部、関西、九州地区で委員担任

システム連携推進SWGの紹介

サポートデスク

Zoom Meeting

情報共有と学びの「場」



より親密に繋がる：「大人の社会科見学」と「懇親」と



NCA Annual Conference について



1. 日程：毎年12月 / 3日間
2. 目的：日本の情報セキュリティ向上に資するイベント
 - ・国内の組織内CSIRTの情報共有と連携の強化
 - ・個々の組織内CSIRTのインシデント対応能力の強化と技術力向上
 - ・加盟組織の経営層に対する啓発やCSIRT活動への理解の醸成
3. 場所：オンサイト開催 / オンライン：Zoom等を使ったWeb配信
4. 対象：NCA加盟/未加盟に関わらず、セキュリティやインシデントマネジメントに興味のある方
(現場担当者から経営層まで。社会人、学生を問いません。)
※本カンファレンスは、ISC2、ISACAが認定するCPEイベントです
5. 参加登録者数の推移：

参加登録数	全体	NCA加盟		未加盟		備考
2023年度	1,149	746	64.9%	403	35.1%	ハイブリッド/参加制限なし/全員無料
2022年度	942	585	62.1%	357	37.9%	ハイブリッド/会場は加盟組織のみ/全員無料
2021年度	742	624	84.1%	118	15.9%	オンライン配信/未加盟組織は有料
2020年度	633	522	82.5%	111	17.5%	オンライン配信/未加盟組織は有料

歴代NCA Annual Conference のテーマ

- 2023年** ● **Ya-Ya-yah! 新しい世界がやってくる! ~セキュリティのABCからAIまで~**
「新しい世界」の到来に向けて、CSIRTが備えるべきセキュリティのABC、つまり基本的な事柄からAIなどの高度な情報技術や考え方について、皆さまと議論していきたい
- 2022年** ● **『CSIRT×FAMILY大作戦』始動 ~ 全国連携に向け、全員集合! ~**
NCAの原点である **FAMILY** のようなシーサート同士の繋がりを、全国のシーサートメンバーやセキュリティ関係者や組織の運営者に広げる『**CSIRT×FAMILY大作戦**』が始動します!
- 2021年** ● **理想と現実のはざままで、極めろ! ~ CSIRTの守・破・離を考える ~**
「52ヘルツのクジラ」のように、誰にも届かない声を上げている人々が数多く存在するのではないか...。
「だから、お願い。52ヘルツの声を、聴かせて。」
- 2020年** ● **場所は異なれど参加者全員が、いま、この「瞬間」を共有**
- それぞれの地区と中継で繋いで、いま、この瞬間の体験を共有する
 - 距離の制約を超えて、インタラクティブに情報を交換する「場」を提供する
 - 加盟組織の一体感の醸成、未加盟組織も含めた「日本のセキュリティ担当」の一体感を醸成



NCA Annual Conference 2023 プログラム

【 Booup Day ! / online 】

● NICTのここだけの話

国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所 副研究所長

サイバーセキュリティネクサス ネクサス長
サイバーセキュリティ研究室室長 井上 大介氏

● インシデント対応プロセス改善の「ハンズオン」ワークショップ

東京大学大学院（博士課程）/ NTT西日本 粕淵 卓氏
国立大学法人 東京大学 中山 雅哉氏

● CSIRTの始め方 -- そして続けられるように

LINEヤフー株式会社 小原 彩氏

● CSIRTお悩み相談室 みんなのお悩み共有編

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 福田 かおり氏
NCA専門委員 山賀 正人氏

【 hybrid 】

● データ駆動社会とデジタル冷戦

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ) 副社長 谷脇 康彦氏

● 未来がやってきたのか？ 生成AI時代のセキュリティ考察

株式会社Preferred Networks セキュリティアーキテクト 高橋 正和氏

● 病院、工場、港湾コンテナターミナル

国土交通省 最高セキュリティアドバイザー / NCA 専門委員 北尾 辰也氏

● 日本のサイバーセキュリティは世界何位なのか？

JPCERTコーディネーションセンター 国際部部長 小宮山 功一朗氏

● 急増するフィッシング詐欺への対応。企業に求められる対策を解説

フィッシング対策協議会 運営委員長 / TOPPANエッジ株式会社 加藤 孝浩氏

● 「Security×Family」 ～ Ya-Ya-yah! 今年もやります 家族のセキュリティアップデート！～

株式会社ラック 七條 麻衣子氏
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所・リサーチャー / 岡崎女子大学 花田 経子氏
株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ) / NCA 副理事長 齋藤 衛氏

● JAXA-CSIRT / 宇宙システムセキュリティに対する取り組み

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) セキュリティ・情報化推進部 / JAXA-CSIRT
副CSIRT長 間下 義暁氏
ログ解析 / 被害拡大防止検討担当 和田 崇之氏

● 生成AIの発展とセキュリティ業務の未来

株式会社ChillStack 代表取締役 伊東 道明氏
株式会社ラック AIプロダクト開発グループグループマネージャー ザナシル アマル氏
Splunk Japan 政策統括部長 仲間 力氏
パナソニック株式会社 中野 学氏

【 NCA !! 】

● インシデント対応演習訓練WGワークショップ～ 訓練体験荘へようこそ～ インシデント対応演習訓練WG

● 全国セキュリティコミュニティ物産展

日本シーサート協議会 / サイボウズ株式会社 松本 純氏
一般社団法人LOCAL/北海道情報セキュリティ勉強会 八巻 正行氏
OWASP Sendai 小笠 貴晴氏
OWASP Nagoya 坂梨 功典氏
一般財団法人関西情報センター 石橋 裕基氏
株式会社エネコム 濱本 常義氏
株式会社セキユアスカイ・テクノロジー 乗口 雅充氏

● CSIRTお悩み相談室 リアル出張編

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 福田 かおり氏
NCA専門委員 山賀 正人氏

● SIM3トレーニング ～ 50分で理解する～

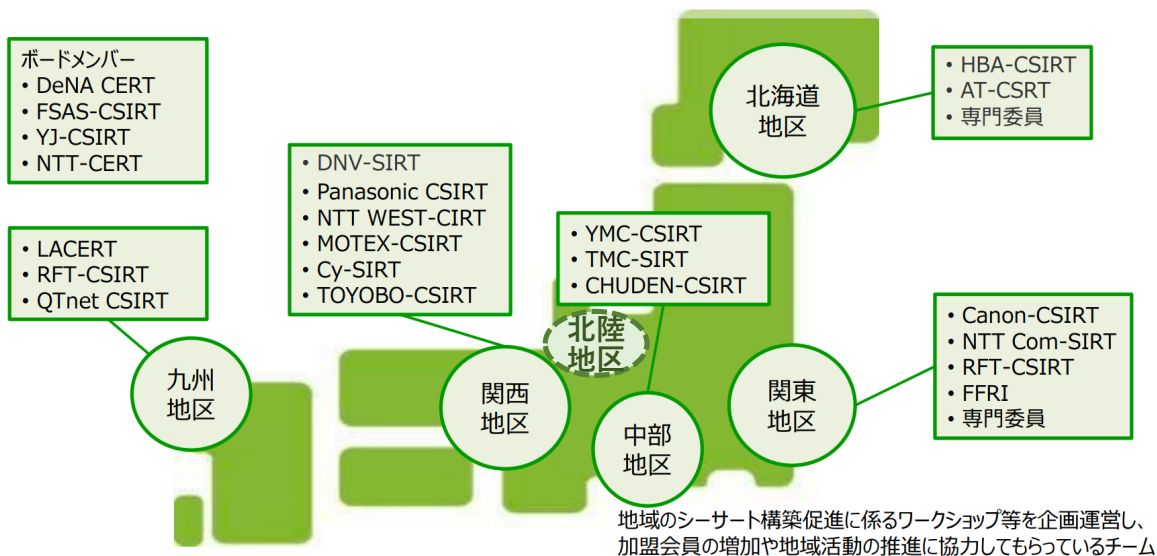
Certified SIM3 Auditor Trainer 杉浦 芳樹氏
Certified SIM3 Auditor Trainer 小村 誠一氏

※ この他にも 車座、Lightning Talks、CFP、クイズ、協賛企業講演など盛りだくさん

各地域のコミュニティ活動との連携強化

地区活動

全国セキュリティコミュニティ物産展



- 日本シーサート協議会 / サイボウズ株式会社
松本 純 氏
- 北海道情報セキュリティ勉強会/一般社団法人LOCAL
八巻 正行 氏
- 東北：OWASP Sendai
小笠 貴晴 氏
- 中部：OWASP Nagoya
坂梨 功典 氏
- 関西：一般財団法人関西情報センター
石橋 裕基 氏
- 中国：株式会社エネコム
濱本 常義 氏
- 九州：株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
乗口 雅充 氏



目指すべきもの：「将来」に向かう起爆剤となる「3つの柱」

価値向上

会員にとっての価値の向上にむけた活動の充実・活性化

- 「会員にとってのWhy NCA」に対する解答であり回答である
- 委員会活動、WG活動、イベント、などによる価値創造・効果創出

連携

日本のセキュリティ態勢の強化に向けた連携

- 既存チーム同士の連携強化・活性化
- 3,000チームを想定した連携のイメージ確立
 - 目的：何故規模を拡大する必要があるか、メリットは何か
 - 制度設計：準会員、オブザーバ、連携組織などへの拡張
- 他の団体との連携
 - 役割追加：他の団体との連携

発展

世の中から信用され、更に頼られるNCAに発展

- NCAの認知度向上、ポジション確立、政治的な働きかけ
- 組織運営の高度化、責任の明確化
 - セルフサービス、手続の明確化・簡素化・自動化、事務局機能の自立

The background features a dynamic, abstract composition of flowing, curved lines in various shades of green and blue. The lines create a sense of movement and depth, with some appearing as bright, glowing streaks against a darker, more textured background. The overall effect is reminiscent of a high-speed digital or fluid motion.

APPENDIX

- NCA ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン宣言
- NCA 行動指針
- 加盟チームの属性【 業界・業種 】
- 加盟チームの属性【 企業規模 (社員数) 】
- 地区活動：ワークショップ 【 2022 ～ 2024年 】
- 地区活動：ワークショップ 【 2020 ～ 2021年 】
- 地区活動：ワークショップ 【 2016 ～ 2019年 】
- チームトレーニング：TRANSITS Workshop 概要
- チームトレーニング：NISC / NCA連携 分野横断的演習の実施

多様性が尊重され、公正かつ公平、人々が包摂される社会の実現に貢献することを目指し、「NCA ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン宣言」を定めます。

1. ダイバーシティ (多様性) の尊重

NCAは、すべての構成員が人種、国籍、性別、性自認、性的指向、年齢、言語、宗教、政治上その他の意見、出身、ライフスタイル、障がい、疾患、経歴等の事由によって差別されることなく活動できることを保障します。また、多様性が尊重される社会の育成に貢献します。

2. エクイティ (公平性) の促進

NCAは、すべての構成員が公正かつ公平に活動できるように差別や偏見を排除します。構成員一人ひとりの境遇の差を考慮してそれぞれに見合った支援や機会を提供します。

3. インクルージョン (包摂性) の推進

NCAは、多様な構成員がNCAのあらゆる活動に参画できることを保障します。そして、多様な個性や価値観を持つ構成員の一人ひとりが、お互いの個性や考え方、能力を理解し、認め、活かしながら成長していくことができる環境づくりに取り組んでいきます。

正義の味方

社会貢献、トラブルをさっそうと解決する有志による無償の提供、積極的な姿勢、強制的にさせられている訳ではない、という事を端的に示す。

自由と責務

信頼関係を築くためには積極的な連携、情報提供が必要。黙って聞いているだけでは信頼は得られない。情報を提供した分だけ、信頼感があがると考えよ。

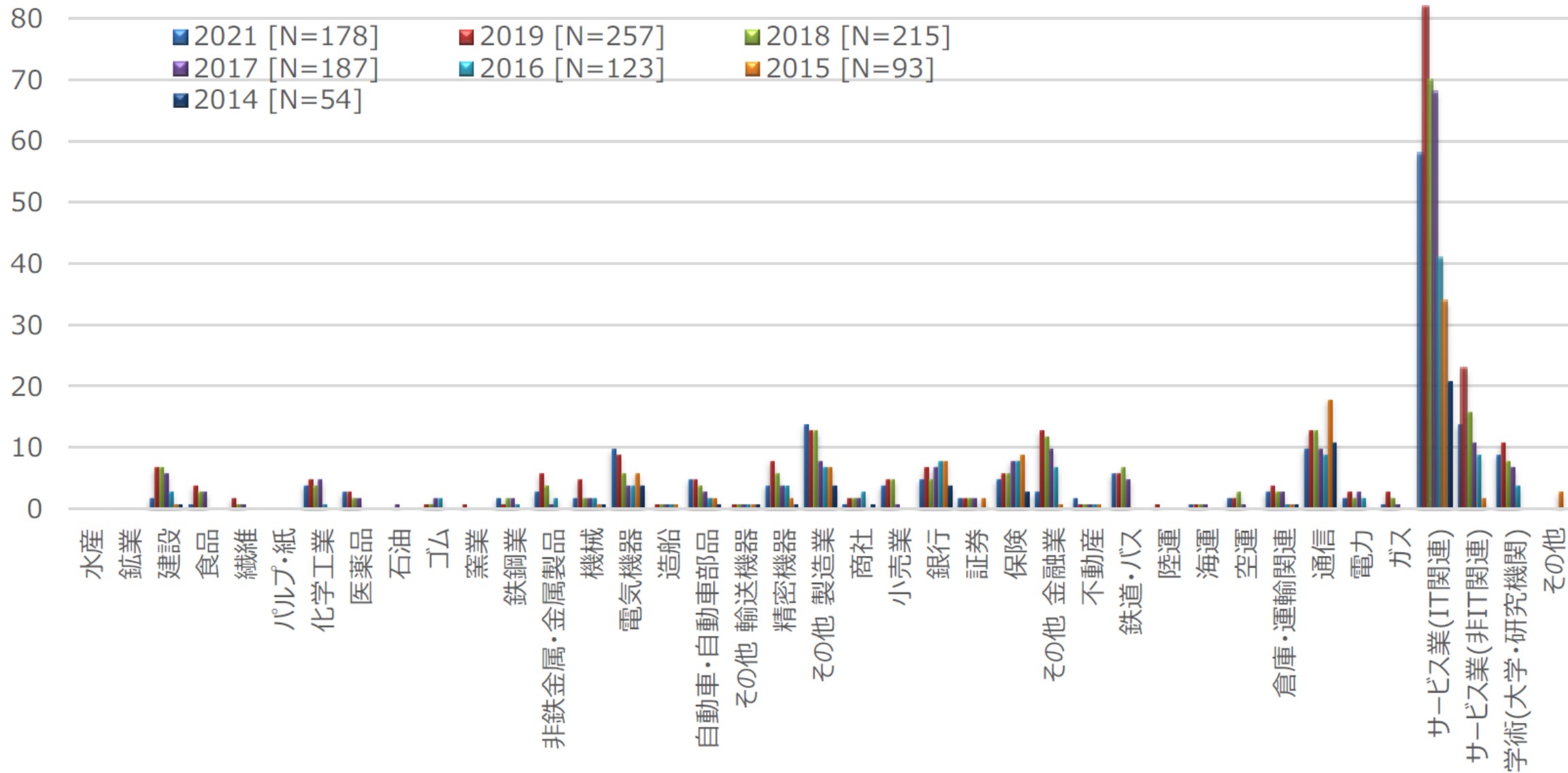
チャレンジと 自己研鑽

常に自分を自己研鑽し、プロフェッショナルであること、新しい事、だれも手をつけていない事に積極的にチャレンジすべし。そして、メンバはその人を否定するのではなく、全力でフォローする事。

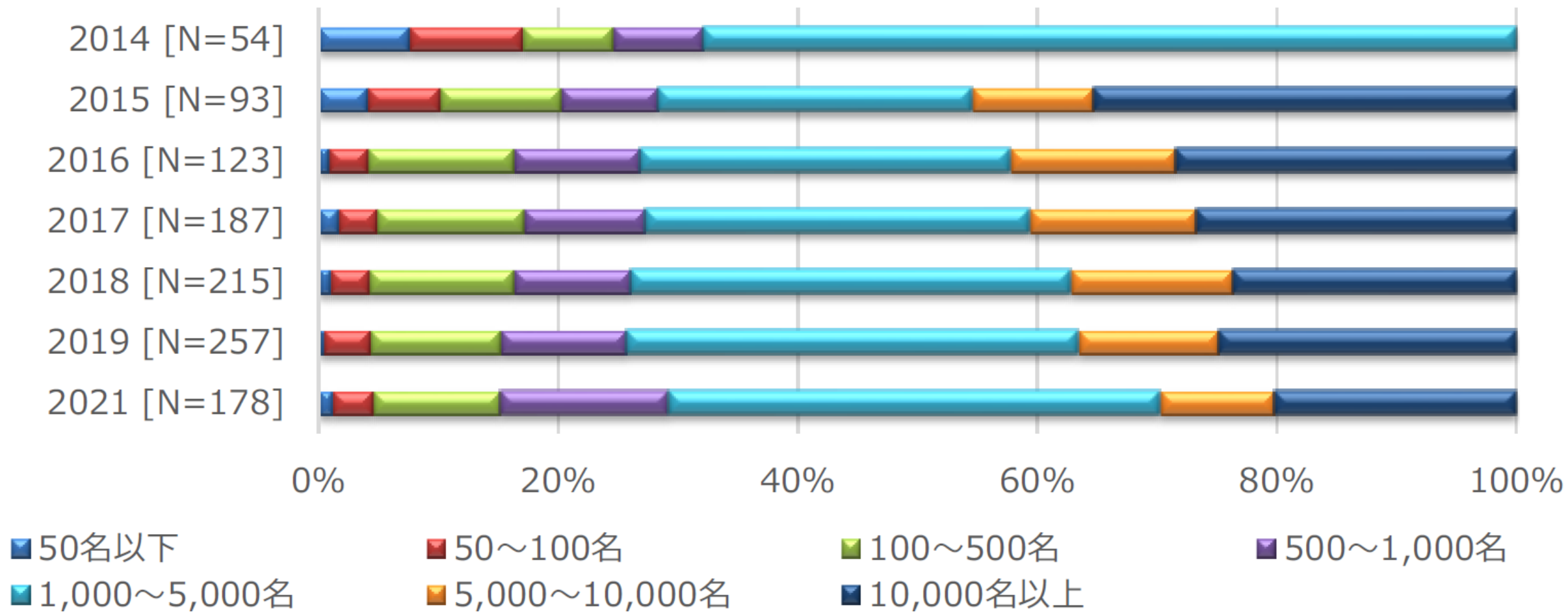
Open Door

協議会内、WG間で垣根を作らない事。どのメンバも参加、見学に対しては温かく迎える事。

加盟チームの属性【業界・業種】



加盟チームの属性【企業規模(社員数)】



地区活動：ワークショップ開催実績

【2022～2024年】

2024年

- 3月15日 関東 ～めぐりあい青空（そら）～
 1月31日 中部 ～サプライのチェーンは続くよどこまでもーものづくりの街からこんにちはー～

2023年

- 11月24日 北信越 ～ベンダーはうちがいいよと言うけれど～ 17名
 10月13日 北海道 ～CSIRT人材とサプライチェーンに関連するあれこれ～ 49名
 9月14日 関東 ～事業継続とCSIRT～ 60名
 7月26日 関西 ～お悩みちゃんへの答え合わせ！NCA最新活用法大公開やで！～ 47名
 6月2日 九州 ～もっと仲良くなろう九州～ 38名
 4月17日 関東 ～振り返って味わうここだけの話～ 40名
 3月10日 関東 ～めぐりあい宇宙（そら）～ 67名
 1月23日 中部 ～サイバー情勢とCSIRTの見える化・魅せる化～ 115名 (ハイブリッド)

2022年

- 11月25日 北陸 ～サプライチェーンセキュリティ苦労話～ 71名 (ハイブリッド)
 10月25日 北海道 ～クラウドリスク評価をするうえで幸せな方法～ 88名 (ハイブリッド)
 9月9日 関東 ～可愛い子には旅をさせよ--海外カンファレンス現地参加と人材育成～ 81名 (オンライン)
 8月31日 CSIRT課題検討WG -- HERE 113名 (ハイブリッド)
 7月29日 関西 ～3年分の思いを込めてここだけの話～ 53名
 6月2日 九州 ～CSIRTが担うセキュリティガバナンス～ 68名 (ハイブリッド)
 4月22日 関東 ～どうしてまか？巣ごもり期間～ 19名
 1月26日 中部 ～隣の芝生は何色だ！？もっと知ろう地域連携！～ 88名 (オンライン)

地区活動：ワークショップ

【2020～2021年】

2021年

11月17日	関東	～ PSIRTもCSIRTも工場もみんな友達～	126名	(オンライン)
10月22日	北海道	～ 次世代のCSIRTの教育とは何か～	50名	(オンライン)
9月24日	関東	～ お試し企画oViceで情報交換しよう～	51名	
7月30日	関西	～ どこまでやるの？ その管理～	51名	(オンライン)
6月28日	関東	～ ランサムウェアに備えていますか？～	134名	(オンライン)
5月27日	九州	～ インシデントどう対応していますか～	108名	(オンライン)
4月19日	北陸	～ 北陸に広げようコミュニティ活動の輪～	56名	(オンライン)
3月26日		～ やってよかった〇〇、やっときゃよかった〇〇～	79名	(オンライン)

2020年

11月20日	中部	～ セキュリティ教育・訓練発表会(中部編)～	79名	(オンライン)
11月12日		「EmotetとのCSIRTとしての向き合い方」～NCA年次会合参加のススメ～	240名	
10月23日	北海道	～ これからのCSIRT内およびCSIRT間の情報共有のありかた～	68名	
7月3日		～ オンラインの良好事例～	131名	(オンライン)
4月22日		～ 加盟希望組織向け説明会～	32名	(オンライン)
3月6日	神戸	～ 類は友を呼ぶ～	69名	
2月17日	関東	～ CSIRTとクラウドセキュリティ～	49名	

地区活動：ワークショップ

【2016～2019年】

2019年

12月10日	関西	～ ONE TEAM関西 業界を超えて～	49名
11月26日	関東	～ 経営層とのコミュニケーション～	38名
10月31日	九州		49名
9月20日	関東	～ セキュリティ教育発表会～	55名
8月2日	浜松		36名
7月19日	関西		76名
5月27日	名古屋		76名
5月10日	北海道		44名
4月17日	関東		60名
2月22日	神戸		30名

2018年

12月26日	関東		49名
11月9日	九州【宮崎】		28名
11月8日	九州【福岡】		30名
10月9日	関東		58名
9月20日	関西		73名
8月9日	浜松		45名
6月11日	関東		56名
5月23日	名古屋		112名
4月26日	関西		94名

2017年

12月11日	関東		40名
11月10日	九州【宮崎】		28名
11月9日	九州【福岡】		57名
10月20日	関西		67名
10月6日	関東		35名
7月18日	浜松		34名
5月24日	名古屋		86名
7月4日	関東		40名
5月16日	関東		20名

2016年

9月27日	大阪		42名
8月19日	宮崎		31名
8月18日	福岡		30名
6月27日	名古屋		47名

日本シーサート協議会 ワークショップ開催報告
https://www.nca.gr.jp/activity/event.html#ev_ws

TRANSITS Workshop 概要

TRANSITSワークショップとは、CSIRT対応能力向上トレーニングです。ヨーロッパの学術ネットワークである「GÉANT」が提供する教育コースで、NCAではTRANSITS-Iを日本語化して提供しています。

対象： CSIRTの構築を考えている方、既存のCSIRTの対応能力向上を行いたい方、CSIRT運用でお困りの方

TRANSITS モジュール詳細

オペレーション (Operational Issues)	最初の報告からトリアージ、調査、解決、インシデントクローズ、事後分析までのインシデント処理プロセスをカバーします。実践的な演習が含まれています。
組織 (Organizational Issues)	CSIRTが組織内にどのように適合するかをカバーし、チームの計画、その構成員の定義、提供するサービスの決定、人員配置、外部関係者とのコミュニケーション、資金調達、および管理権限の取得を含みます。
技術 (Technical Introduction & Attack Vectors)	侵入者がシステムとその動機を攻撃する方法、ネットワークプロトコルが悪用される方法、オペレーティングシステムとサービスの脆弱性、サービス拒否攻撃、トレースの非表示、および情報収集手法について説明します。いくつかの実践的な演習が含まれています。
法制度 (Legal Issues)	CSIRTの業務に影響を与える可能性があり、CSIRTメンバーが知っているべき日本の法律の分野を対象としています。これには、データ保護、コンピューターの誤用、ネットワークモニタリング、証拠の収集、法執行機関との協力が含まれます。

+

演習

討論会

ネットワーク

NISC / NCA連携 分野横断的演習の実施

NISC (内閣サイバーセキュリティセンター) が主催する 14分野の重要インフラ事業者を対象としたサイバー演習に合わせて、シナリオをアレンジした机上演習をNCA加盟組織に提供する。

- 目的 : チームの課題を発見し、改善して、チーム力向上を図る
- 開催時期 : 12月 (NISCの演習開催日)
- 参加者 : NCA加盟組織

年度	会場	チーム数	参加人数
2016年	NISC会場	1	8
2017年	東京 1 会場	20	102
2018年	東京 2 会場	64	257
2019年	東京 3 会場、大阪 1 会場	89	394
2020年	オンライン	96	488
2021年	オンライン	99	582
2022年	オンライン	100	705
2023年	オンライン	120	813

運営会場



参加者



- 2023年度参加チーム (業種業界)
- ・ 製造業 (42 チーム)
 - ・ 情報通信業 (32 チーム)
 - ・ サービス業 卸売業・小売業 (13 チーム)
 - ・ 建設業 電気・ガス・水道 不動産業 (7 チーム)
 - ・ 金融業 保険業 (7 チーム)
 - ・ その他 (19 チーム)



CSIRT同士の積極的なコミュニケーションを図ることによって、より良いセキュリティ対応を考え、そして、実現していきます。



<https://www.nca.gr.jp/>